

**TOUGHGI に感動を!!**  
子どもたちに夢を!!

朝日新聞は栃木S.C.を応援しています

## 県溶接技術競技会で優勝

### 女性初、経験1年で快挙



繊細な技術力が求められる県溶接技術競技会テイク部門で、女性として初めて優勝した佐藤さん（鹿沼市電機製作所）



鹿沼・佐藤陵子さん

# 23歳、抜群のセンス

## 業界女性の進出に期待

鹿沼市の電機製作所に勤務する佐藤陵子さん（23歳）は、先ごろ行われた県溶接技術競技会で、各事業所から選ばれたベテラン男性技術者に混じり優勝、知事表彰を受けた。女性が優勝したのは大会史上初めて。しかも溶接の仕事を始め、一年での快挙に、業界関係者は「努力とセンスのたまもの」と賛辞を惜しまない。一方佐藤さんは毎日親切に指導してくれた先輩たちのお陰、また先輩入前なので、さらに技術を磨き、大きな仕事を任されるようになりたい」と話している。

かな知識と繊細な技術が求められる溶接だが、佐藤さんは八百点満点で、七百九十二の高得点を挙げ一位に輝いた。過去二回が二百五十点台での優勝だけに、同支部の嶋山正事務局長は「普通では出せない高得点。関係者にも驚きが走りました」と語る。

溶接技術競技会は日本溶接協会栃木県支部が主催。二十回を超す歴史を持ち、今回は手アーク、半自動テイク（TIG）の三部門に、県内から三十二人が参加した。佐藤さんが優勝したのはステンレスを溶接するテイク部門。厚さ三ミリの溶接用材料を、下向き、立向きの姿勢で溶接する。時間は電流調整、練習、仮・本溶接、競技材の清掃を含め五十分。確

定に仕上げること、溶接技術の世界に入るきっかけとなった。溶接を学ぶための会社を退職し、雇用・能力開発センターのメタルワーク科に入学。「好きこそもの上手なれ」のたとえ通り、「毎日の実習が楽しくてしょうがなかった」という半年間を送った。昨年七月に電機製作所に入社。現在は携帯電話の基盤局で使われる機材の溶接に従事しているが、製品なので図面通りに練習を重ねることに臨んだという。

常に心がけています。目できれいと分かる溶接が目撃」と話。競技会への出場が決まったときは「まさか私ごと驚いたそうだが、年明けから早出や残業を利用して、毎日一時間の練習を重ねることに臨んだという。

入社して一年足らずの女子社員が、歴史ある大会で優勝。同社の生産本部長で、日本溶接協会支部長を務める福田伸一さんは、「優れたセンスの持ち主。女性らしい柔らかさ、几帳面さが仕事に表れ、製品に乱れがない」と、佐藤さんが高く評価する。

さらに、「溶接は女性の特長が生かせる仕事。女性がかつと進出すれば活躍の場も広がるし、職場も明るくなります」と、業界としても「第二の佐藤さん」の登場に期待を寄せている。